

飽和温度 …………… 不純物のない水では圧力に応じて飽和水の温度が決まります。この温度を飽和温度と呼びます。沸点とも呼ばれます。

飽和蒸気 …………… 一定圧力（たとえば大気圧）下で水を温めると、これ以上少しでも加熱すると蒸気が発生するという温度（飽和温度、沸点、1気圧なら100℃）になります。さらに加熱すると蒸気が発生し始め、すべての水が蒸気になるまで、飽和温度のまま蒸気と水が共存します。この蒸気を飽和蒸気と呼びます。圧力が異なると飽和温度も異なることは、たとえば気圧の低い高地でお湯を沸かすと100℃未満で沸騰することなどから経験できます。

### 【ま】

前処理 …………… 乾燥操作の前に行う処理のことです。  
たとえば、このマニュアルで取り扱っている「高温セット処理」は、他の乾燥法の前処理として使うことができます。

未乾燥材 …………… 人工乾燥あるいは天然乾燥処理を十分に施していない木材のことです。

密度 …………… 単位体積あたりの重さのことです。重さを体積で割って算出します。単位にはg/cm<sup>3</sup>、kg/m<sup>3</sup>などが用いられます。

### 【や】

ヤング係数 …………… 材料に荷重を加えると材料は変形しますが、その変形のしやすさ・しにくさを示す物性値です。この数値が大きいほど変形しにくい材料であることを意味します。

誘電加熱 …………… 高周波電界内に被加熱物（誘電体）をおいて、内部から加熱する方法です。  
水を含んだ木材を2枚の平行電極に挟んで高周波電圧を加えると、電極間に高周波電界が生じ、水分子の極性が電界の方向に並ぼうとします。印加される電圧は交流なので周期的に電圧の向きが変わり、そのたびに水分子が回転運動しようとして隣同士の分子が摩擦して発熱し、これによって温まります。

養生 …………… 製品の寸法を安定させるため、材内の含水率傾斜やばらつきを小さくして乾燥後、直ちに修正挽き（モルダー加工）を行わずに、一定期間、倉庫等に半製品の状態で保管（静置）しておくことをいいます。